

モダンバルコニーの人工木デッキ(t=30)の取付けについて

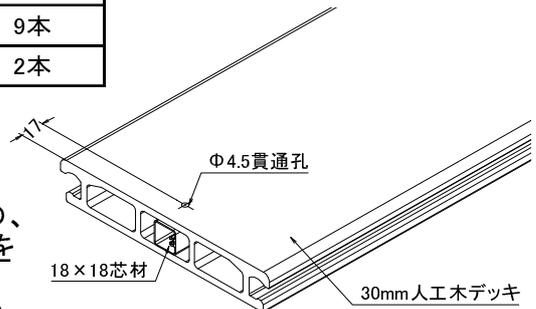
1 人工木デッキ(t=30)の準備

- ① 人工木デッキ・芯材・床端部材を本体間口寸法に合わせて切断します。
切断寸法・必要部材数は下表を参照してください。

間口	単体			連棟			
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間
切断寸法(mm)	1670	2580	3490	1670、2580	2580	2580、3490	3490

出幅	3尺	4尺	5尺	6尺
人工木デッキ(枚)	4枚	6枚	7枚	9枚
芯材(本)	4本	6本	7本	9本
床端部材(本)	2本	1本	4本	2本

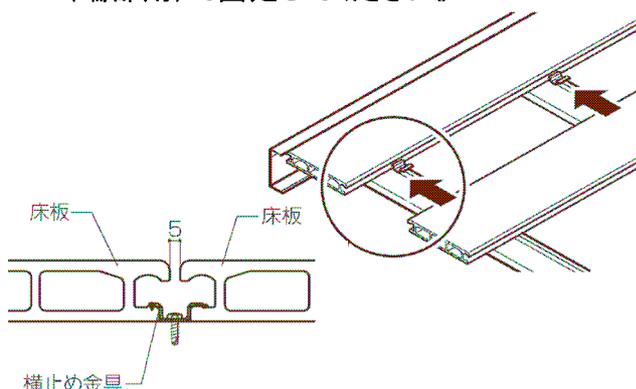
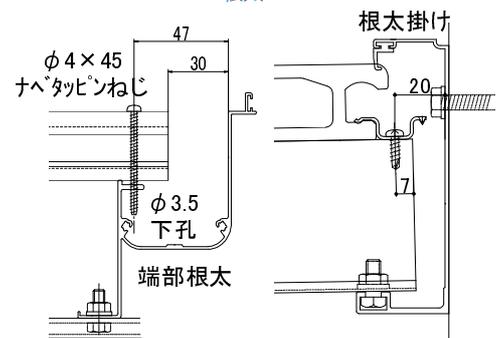
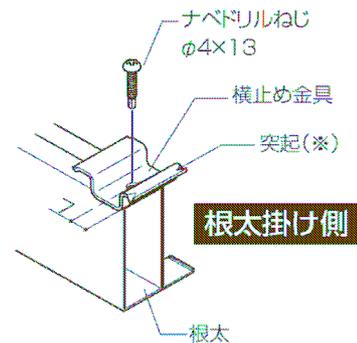
- ② 人工木デッキには割れによる落下防止のため、18×18の芯材を入れて施工します。
両端部は端部根太に人工木デッキと共締めするため、右図のように端部から17mmの位置にφ4.5の貫通孔を予めあけてください。
※芯材はタッピングホールが横になるように挿入してください。



2 人工木デッキの取付け

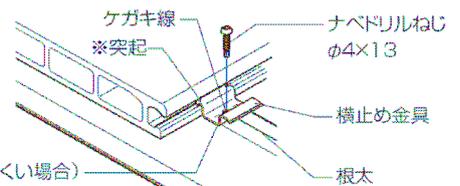
人工木デッキの取付けは、リコステージⅡの取付け説明書を基本に行なってください。

- ① 根太組みする前に根太の根太掛け側に横止め金具を固定します。
取付け位置は根太端部から7mmのV溝位置になります。
(根太掛け面からは約20mm位置)
※横止め金具の取付け向きに注意してください。
- ② スタートとなる横止め金具の位置が左右通しで揃うように根太の位置を調整してください。
- ③ 人工木デッキに18角の芯材を入れ、端部から端部根太までの位置が左右で30mmになるよう調整して横止め金具に挿入します。
- ④ 調整できたら、人工木デッキの反対側を横止め金具で固定してください。
2枚目以降は③からの繰返しになります。
デッキ材同士の隙間は5mmになるように調整します。
前桁側の最後の人工木デッキ固定は床板取付け金具(端部用)で固定してください。



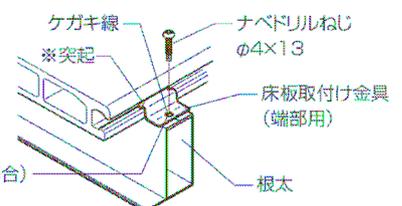
- 突起がある側を床板に取付けます。

下穴φ3.5(取付けにくい場合)

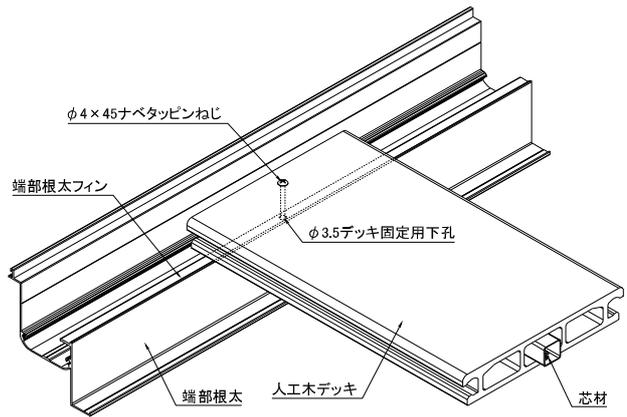


- 突起がある側を床板に取付けます。

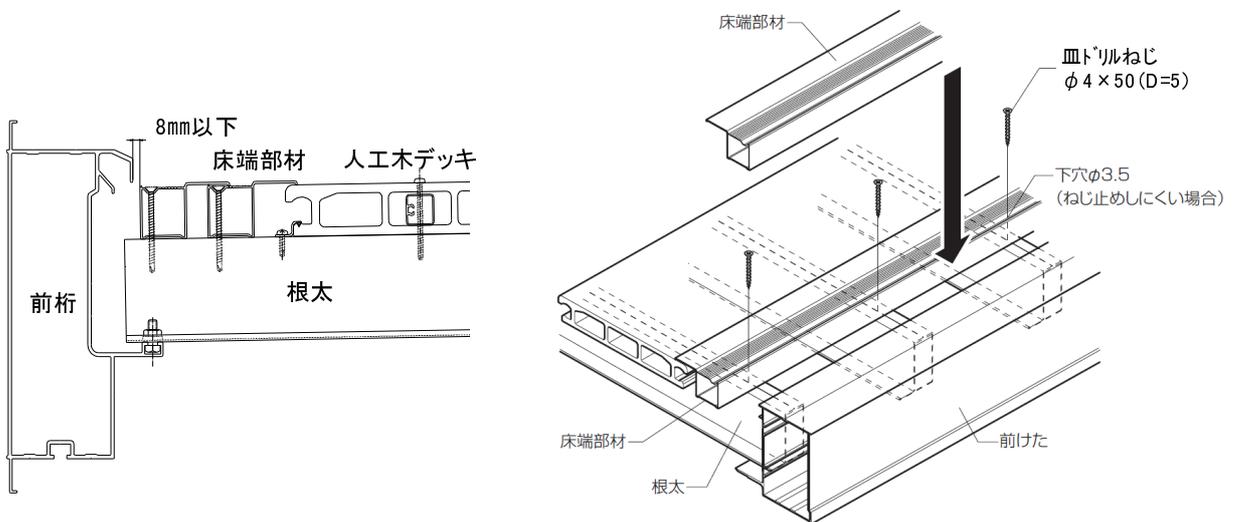
下穴φ3.5(取付けにくい場合)



- ⑤ 人工木デッキの根太への固定が終わったら両端を端部根太に固定するため、準備時にあけた $\phi 4.5$ 貫通孔位置の端部根太のフィン部に $\phi 3.5$ の下孔をあけて $\phi 4 \times 45$ ナベタッピンねじで芯材と一緒に共締めしてください。



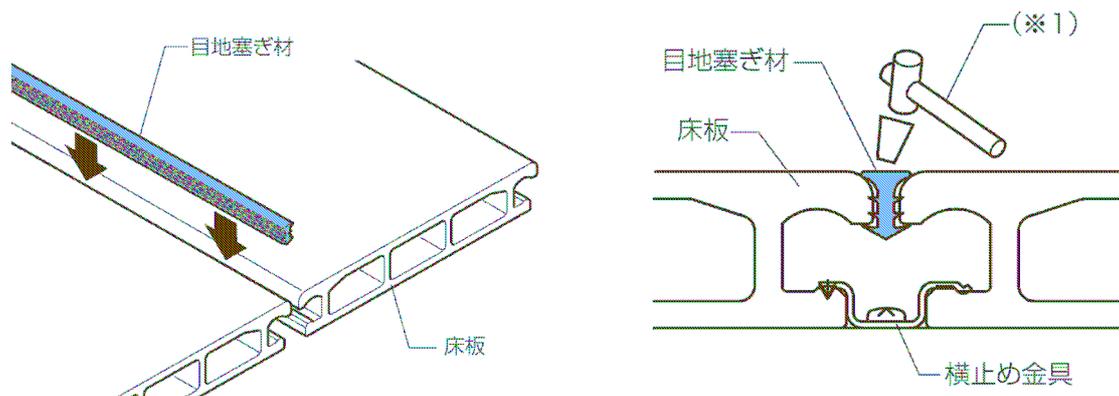
- ⑥ 前桁と人工木デッキの隙間は床端部材で埋めます。出幅によって使用本数は変わりますので、前頁の表で確認してください。床端部材の固定ねじは次の床端部材で隠れるように配置し、前桁と床端部材との隙間寸法は、安全上8mm以下になるように予め位置を確認してから取付けを行なってください。



3 目地塞ぎ材(オプション)の取付け

- ① 目地塞ぎ材は、ほせるんですⅡハーフ囲いで設定しているものを使用してください。

床板面から、飛び出さない位置まで押し込んでください。入りにくい場合は、当て木などを使い、ハンマーで叩いて押し込んでください。(※1) 目地塞ぎ材を引張りながら挿入してしまうと縮みの原因となりますので注意してください。



※人工木仕様のバルコニーでは、雨水の排水機能はありませんので、集水器・雨樋の取付けは不要です。